


往還ノート

1 学期 2 号 (230 号) 平成 30 年 7 月


放送大学 広島学習センター
福山サテライトスペース

「刑事政策」を知っていますか

放送大学広島学習センター客員教授 吉中 信人

刑事法学とは、おおまかに言えば、「罪と罰」に関する学問ということになりますが、細かく分類すると、刑法、刑事訴訟法、刑事施設法、更生保護法、少年法といった、規範に関する分野を中心に、事実の学問としての犯罪学や被害者学、さらにこれらを踏まえた、刑事政策学などからなる非常に幅広い領域です。隣接領域として、児童福祉法、児童虐待防止法、心理学、社会学、教育学、さらには（司法）精神医学なども関係しますので、法律はもちろんのこと、およそ人間を対象にした学問すべてに対して、ある程度の知識を持っていることが求められます。人が犯す罪と、それに対し国家から与えられる刑罰をめぐる様々な問題が取り扱われるからです。「人はなぜ罪を犯すのか、犯した人に国はどうか対応すべきなのか」を考えるためには、幅広い分野にわたる考察が欠かせません。



これらのうち、特に「刑事政策（刑事学）」については、担い手の高齢化とポストの削減によって、冗談ではなく、正に絶滅危惧種の状態にあります。多くの研究者養成大学院でも後継者の養成はほとんどできていません。この領域は、とりわけ、刑務所や社会内での犯罪者処遇のあり方や再犯予防について議論するもので、実は、私たち市民にとっては、最も身近な問題です。最近も、松山刑務所大井造船作業場から脱走した受刑者のことが話題になりましたが、犯罪者の社会復帰問題について、人々が十分学ぶ機会を得られていないことから、メディアを含めて様々な誤解が生じています。いまだに刑務所を「牢屋」のように思われている方も多いのではないのでしょうか。受刑者も私たちと同じ人間であり、死刑でなければ、いつかはやがて社会に戻ってくる存在です。ただ罰するだけでは犯罪性向は矯正できず、それでは社会で次の被害者を生むこととなります。現在、国や法務省も犯罪者の社会復帰支援や再犯防止に本腰を入れるようになり、再犯の防止等の推進に関する法律（平成 28 年法律第 104 号）が成立し、平成 28 年 12 月 14 日に公布、施行されました。

犯罪や再犯の少ない社会を実現するために、まだまだ考え、そして学ぶべきことはたくさんあるように思います。

目次

客員教員寄稿.....	1	視聴学習・図書室からのお知らせ.....	6
「所長室コーナー」から.....	2	行事のお知らせ.....	6
事務室からのお知らせ.....	3	スケジュール(7月～10月).....	8

発表するということ

広島学習センター所長 山田 隆

学問の世界では「考え」や「成果」を発表することがとても大切である。その大切さゆえに、「効果的に発表」する技術が必要であり、ノウハウ本が沢山出ている。とある大手書店の関連コーナーでは30種類以上を目にした。この発表サポート技術は最近30年で激変した。1980年代までは、科学関連分野の発表会では主としてスライドが用いられた。美しいスライドを作るための描線・描画キット（レトラセットなど）が流通した。自動スライド作製機（パナコピーなど）も重宝された。やがてパソコンと描画ソフトの普及により、画像のバリエーションと色彩の選択が大幅に広がった。1990年代に入るときには、簡便化を理由にOHP（オーバーヘッドプロジェクター）の利用が主流となった。OHPシートの画像はカラーコピー機で印刷できた。やがて、液晶プロジェクターの開発とMSパワーポイントソフト（PP）の登場で、様相は一変することになる。アニメーション、立体画像、動画を含めて「効果的な発表」技術の進展は目覚ましい。実は、これらサポート技術が流行するにはそれぞれ長い変遷の歴史があった。技術と技術の切り替え期にはちょっとした混乱があった。発表会場でのスライドとOHPの面倒な併用や、PP使用時のパソコンのフリーズ、パソコンOSの不適合による画像のゆがみなどのトラブルである。新技術に適合するためにはかなりのエネルギーが使われた。ともかくも現在、PPの多彩な機能を活用した「効果的な発表」が行われる。映画のスクリーンのような目を奪われる画像も登場する。この素晴らしさも価値の一つと言えようか。しかし、「効果的に発表」する内容こそが肝心であることは言うまでもない。ヒトはしばしば見かけに目を奪われ本質を見失う。人目を引くのは悪いことではないが、意図的に粉飾・化粧することは良くない。この粉飾（化粧）技術が最近過剰気味に思える。学生が学会等で「技術を駆使した」発表を競うように行う。聴衆もデータを吟味するより、目の前に展開する画像の色彩と動きに目を奪われる。さすが、自然科学の世界では飾りに惑わされてデータを見誤ることは少ないと思えるが、他の分野ではどうだろうか？冒頭の文章に戻ると『学問の世界では「考え」や「成果」を発表することがとても大切である』。「考え」や「成果」の大切さを強調するために技術を駆使する。飾りによって「考え」や「成果」の価値が増すのであろうか？技術があまりに目立って「考え」や「成果」を覆い隠すようでは本末転倒である。いつの時代でも、スライド、OHP、PPの何を用いるにしても、発表は「簡潔」であるべきと思うのは無粋な理系人間のサガであらうか？



●○学習センター・サテライトスペース臨時閉所日について○●

8月3日(金)、12日(日)、14日(火)、15日(水)は臨時閉所とします。

●○単位認定試験について○●

《平成30年度第1学期単位認定試験日程、試験期間中の開所時間・閉所日》

7月				
27日(金)	28日(土)	29日(日)	30日(月)	31日(火)
大学院	大学院	教養学部	閉所日	教養学部
8月				
1日(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)
教養学部	教養学部	閉所日	教養学部	教養学部

【開所時間】 広島学習センター9:00~19:00(視聴学習・図書室9:00~18:45)
福山サテライトスペース9:00~18:45

《持参物》

●単位認定試験通知(受験票)…7月20日(金)

になっても到着しない場合は、大学本部(総合受付) ☎043-276-5111 へ連絡してください。

●学生証

●HBの鉛筆・消しゴム(シャープペンシルは不可)

●持ち込み許可物品

※持ち込み許可物品については受験票送付時に併せて通知します。

※筆記具や持ち込み許可物品は、**事務室での貸出しは行いませんので、忘れないようにしてください。**

《試験時間》

●50分間です。

●試験開始10分前までに入室してください。

●試験開始20分以降は入室できません。

《成績》

試験結果は(教養学部は面接授業の成績とともに)、**8月下旬**に「成績通知書」によって通知します。

《再試験》

今学期(平成30年度第1学期)、新規に科目登録した科目については、**次学期(平成30年度第2学期)に引き続き学籍がある場合に限り**、次学期に再試験を受験することができます(休学中の場合を除く)。

平成28年度以降に新規開設したオンライン授業科目は、単位認定試験を行いませんので再試験はありません。(※小学校外国語教育教授基礎論('17)を除く)

《単位認定試験問題・解答等の公表》

今学期の試験問題は**8月上旬**、解答等は**8月下旬**に公表予定です。

試験問題及び解答等は、過去1年分を、インターネット(システム WAKABA「学内リンク」より遷移)、広島学習センター(視聴学習・図書室)及び福山サテライトスペース(図書コーナー)で閲覧できます。郵送サービスも放送大学本部にて行っていますので、利用されたい方は学生生活の葉にて申込み方法等確認してください。

●○次学期の履修手続きについて○●

①次学期も学籍のある方

次学期に履修する科目の科目登録申請を期間内に行ってください。

☞	申請期間	申請方法
郵送	8月15日(水)～ 8月30日(木) 本部必着	7月中旬に送付されます科目登録申請票に次学期に履修したい科目を記入の上、大学本部へ郵送してください。
インターネット	8月15日(水) 9:00～ 8月31日(金) 24:00	システム WAKABA の「教務情報」から「科目登録申請」を行ってください。

②今学期で学籍の切れる方

引き続き放送大学で学習されたい方は、継続入学手続きを期間内に行ってください。

☞	出願期限	出願方法
郵送	【第1回募集】 8月31日(金) 本部必着 【第2回募集】 9月20日(木) 本部必着	7月上旬に送付されます継続入学用募集要項もしくは一般の募集要項に必要事項を記入の上、大学本部へ郵送してください(選科・科目履修生から全科履修生に継続入学する場合は一般の募集要項にて手続きをしてください)。
インターネット	【第1回募集】 8月31日(金) 24:00 【第2回募集】 9月20日(木) 24:00	システム WAKABA の「教務情報」から「継続入学申請」もしくは放送大学ホームページのインターネット出願から手続きをしてください(教養学部への継続入学生で面接授業も登録したい方は下記※を参照してください)。

③今学期末に卒業見込みの方

成績判定後に次学期に向けて手続きを行ってください。

必要な手続き	手続きに該当する方
科目登録申請(①参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期も学籍がある 場合。
継続入学(②参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期に学籍がない 場合。
	今学期末で卒業される方で、 引き続き放送大学で学習を続けたい 場合。

④しばらく科目登録していない方

全科履修生は連続して4学期(2年)間、科目登録申請及び授業料納入を行わないと除籍になります。連続して3学期間、科目登録手続き、授業料納入を行っていない方は、この機会に科目登録申請を行い、学習を再開しましょう。

※継続入学生が学期当初から面接授業の登録申請をする場合

教養学部(全科履修生・選科履修生・科目履修生)への継続入学生で、学期当初から面接授業の登録申請を希望される方は、**科目登録申請期間中(8月15日(水)～8月31日(金))にシステム WAKABA(「教務情報」の「継続入学申請」)**から出願を行う必要があります。

- 学期当初からの面接授業の科目登録申請は、郵送での受付はありません。
- 科目登録申請期間外に継続入学申請を行った場合、面接授業の科目登録申請はできません。
- 出願時には、1科目以上放送授業又はオンライン授業を登録する必要があります。面接授業の登録のみでは出願できません。

●○次学期の面接授業持参物等について○●

下表の面接授業科目は、教科書又は持参物等が指定されております。受講を希望される方は、授業当日までに用意し、必ず持参してください。事務室での貸出しは行いません。

面接授業についての詳細(日程、授業概要、注意事項等)は、放送大学ホームページ又は放送大学本部より発送される 2018 年度第 2 学期面接授業時間割表(中国・四国ブロック版)冊子を確認してください(ホームページへの面接授業概要(シラバス)の公開及び冊子の発送は 7 月中旬を予定)。

●教科書が指定されている科目

	科目名	持参物	申込期日
広島学習センター	道徳教育論	やさしい道徳授業の作り方 鈴木由美子・宮里智恵／溪水社／¥1,944/ ISBN=9784863271821	10月12日(金)
福山サテライトスペース	博物館基礎講座	新時代の博物館学 全国大学博物館学講座協議会西日本部会/ 芙蓉書房出版／¥2,052／ISBN=9784829505519	11月21日(水)

※事務室に申し込まれた場合、授業開講日の約 1 週間前から事務室窓口で代金引換にてお渡しする予定です。注文後のキャンセル・返品はできません。

●持参物が指定されている科目

	科目名	持参物
広島学習センター	心理学実験 1	USB メモリ
	魚の教養学	手ふき用のウェットティッシュ、タオル等
	アートと福祉	季節の食材や花、日用品、文房具等こだわって描けそうなものを 3 つ以上(絵手紙制作で使用)
	心理学実験 3	USB メモリ
	マイクロソフトオフィス入門	USB メモリ
	ニンジンで学ぶ量子の世界	電卓
	e ラーニングと電子出版入門	USB メモリ
福山サテライトスペース	心理学実験 2	ノート、USB メモリ、√(ルート)が使える電卓
	博物館基礎講座	スマートフォンもしくは携帯電話

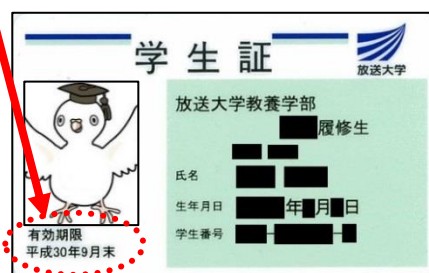
●○次学期の学生証の交付について○●

9 月末で学生証の有効期限が切れる方、次学期に再入学・継続入学される方の学生証は、**10月3日(水)**から交付できます。

次学期も引き続き学籍のある全科履修生の方は、学生証の有効期限を確認してください。有効期限が切れている方は旧学生証を事務室窓口まで持参してください。

再入学・継続入学される方は「入学許可書」(お持ちであれば旧学生証も)を持参してください。

なお、学生証の写真を新しくされたい方は、更新の 1 カ月前に「写真票」を大学本部学生課に提出するか、システム WAKABA「教務情報」の「学生カルテ」から変更を行ってください。登録方法等、詳しくは学生生活の葉(教養学部:P18~/大学院:P24~)を参照してください。



視聴学習・図書室からのお知らせ

◆◇図書・資料の室外貸出停止期間について◆◇

7月13日(金)～8月5日(日)まで、視聴学習・図書室の図書・資料の貸出停止期間です(放送教材は通常通り貸出します)。貸出中の図書・資料は7月12日(木)までに返却してください。

◆◇視聴学習・図書室の臨時閉館について◆◇

次学期準備のため、視聴学習・図書室を9月25日(火)～30日(日)の期間、閉館します(広島学習センターのみ)。

貸出中の放送教材、図書・資料は、9月22日(土)までに返却してください。

◆◇庄原教室での放送教材の視聴について◆◇

庄原教室(庄原市民会館：庄原市西本町二丁目17-15)においても、放送教材の視聴ができます。現在、庄原教室に配架されていない科目を履修されている場合は、複製希望科目を8月31日(金)までに広島学習センター(☎082-247-4030)へ連絡してください。

庄原教室へ現在配架されている科目については、広島学習センターへお問い合わせください。

◆◇広島学習センター配架雑誌バックナンバー配布について◆◇

平成28年度4月～3月に広島学習センター視聴学習・図書室へ配架していた雑誌のバックナンバーを無料配布いたします。引き取りをご希望の方は、先着順でお持ちください。

なお、雑誌の予約申込や配送は受け付けておりません(配送は着払いも不可)。

◆配布期間：10月2日(火)～10月31日(水) (なくなり次第終了)

◆場 所：広島学習センター視聴学習・図書室

❖雑誌一覧❖

科学／家計経済研究／教育学研究／経済セミナー／公衆衛生情報／こころの科学／思想／情報処理／数理科学／都市問題／ニュートン／一橋ビジネスレビュー／月刊福祉／文学／文藝春秋／法学セミナー／臨床心理学／Interface／National Geographic／WIRED

行事のお知らせ

広島学習センター所長・客員教員ゼミについて

所長ゼミ

■日時：7月14日(土)13:00～14:30
8月19日(日)15:00～16:30
9月15日(土)15:00～16:30

新垣先生ゼミ

■日時：7月8日(日)13:00～14:30
8月18日(土)10:30～12:00
9月9日(日)13:00～14:30

■対象者：広島学習センター福山サテライトスペース所属学生

■会 場：広島学習センター小講義室(4階)

■参加方法：開催日に直接会場へお越しください

ゼミ内容の詳細は学習センター
掲示板・ホームページをご覧ください。

広島学習センター文化祭を開催します

広島学習センターで初めて文化祭を開催します。講演会や絵画、写真等を掲載する予定です。詳細は決まり次第広島学習センターホームページへ掲載します。

■日 程：11月4日(日)

■場 所：広島学習センター内

ぜひご参加ください!

納涼会のご案内

学生相互及び教職員との親睦を目的に、納涼会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。お一人でもお気軽にご参加ください。

- 日 時：8月10日(金)18:00～
- 場 所：福屋広島駅前店屋上 パノラマビアガーデン（広島市南区松原町9-1）
- 参加費：男性 3,100円 女性 2,900円 ※当日お支払いください。
- 申込締切：7月29日(日)
- 申込先：広島学習センター事務室

研修旅行のご案内

記念切手の原風景、阿伏兎(あぶと)観音と鞆の浦を歩く

国立公園法により昭和9年瀬戸内海国立公園として最初の指定を受け、それを記念して昭和14年には『阿伏兎観音』と『鞆の浦』の記念切手が発行されました。

今回、記念切手の原風景である阿伏兎観音と鞆の浦を歩こうという研修旅行を計画しましたのでふるってご参加ください。

- 日 時：10月13日(土) 広島SC 8:30 出発／福山SS 10:05 出発、
- 場 所：阿伏兎観音と鞆の浦(福禅寺対潮楼、いろは丸展示館、江戸時代の港湾施設等)
- 募集人員：35名(先着順に受け付けます。なお、定員に達し次第締め切ります。)
- 参加費：2,200円(昼食代1,500円(刺身定食のみ)・拝観料・保険料・雑費等)
- 集合場所：広島学習センター又は福山サテライトスペース
- 行 程：広島SC 8:30 出発 ▶福山SS 10:05 出発 ▶阿伏兎駐車場(0.6Km 程度歩く) ▶阿伏兎観音拝観 ▶昼食 ▶バス ▶阿藻珍味(休憩)▶鞆の浦(2Km 程度歩く) ▶帰路(福山SS 16:20 頃着、広島SC 18:10 頃着)
- その他：前日までに学生教育研究災害傷害保険に加入してください。
阿伏兎と鞆の町なかを少し歩きますので、歩きやすい運動靴等でご参加ください。
- 申込締切：9月21日(金)
- 申込先：広島学習センター又は福山サテライトスペース事務室

研修旅行の詳細は広島学習センター・福山サテライトスペースのホームページ又は掲示板をご覧ください。

福山サテライトスペース主催 美術鑑賞会のご案内

ふくやま美術館開館30周年記念 岸田劉生展

- 日 時：10月14日(日)
9:50～10:00 学芸員による事前学習
10:00～11:30 鑑賞
- 場 所：ふくやま美術館(福山市西町2-4-3)※9:50までに1階ロビーへ集合
- 募集人数：20名
- 申込締切：10月7日(日)17:30まで
- 申込先：福山サテライトスペース事務室

スケジュール(7月～10月)

7月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1日(日) 卒業研究ガイダンス
 1日(日) 公開講演会(広島)
 13日(金)～8月5日(日) 図書・資料貸出停止期間
 27日(金)～28日(土) 単位認定試験(大学院)
 29日(日)～8月5日(日) 単位認定試験(教養学部)

8月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	※3	4	5
6	7	8	9	10	11	※12
13	※14	※15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

10日(金) 納涼会
 15日(水)～30日(木) 科目登録申請期間(郵送)
 15日(水)9:00～31日(金)24:00 科目登録申請期間(Web)

9月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

25日(火)～30日(日) 視聴学習・図書室臨時閉室(広島)
 30日(日) 学位記授与式・入学者の集い(広島・福山)

10月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

13日(土) 研修旅行
 14日(日) 美術鑑賞会(福山)
 17日(水) 面接授業空席発表
 24日(水) 面接授業追加登録開始

閉所日(月曜日、祝日、所長が必要と認めた日) (※) 臨時閉所日

平成30年度第2学期入学生募集 大学説明会・入学相談会のご案内

広島学習センター

- 大学説明会日時
 7月 8日(日)13:30～
 8月 19日(日)13:30～
 9月 9日(日)13:30～
- 場所:お問い合わせ先
 広島学習センター
 ☎082-247-4030

福山サテライトスペース

- 大学説明会日時
 7月 8日(日)13:30～
 8月 19日(日)13:30～
 9月 9日(日)13:30～
- 場所:お問い合わせ先
 福山サテライトスペース
 ☎084-991-2011

庄原教室

- 大学説明会日時
 7月 7日(土)13:30～
 8月 18日(土)13:30～
 9月 8日(土)13:30～
- 場所:お問い合わせ先
 庄原教室(庄原市民会館内)
 ☎082-247-4030

入学相談会は随時実施中！！

広島学習センター及び福山サテライトスペース開所日に随時実施しますので、ご都合の良い時に来所してください。

なお、月曜日、祝日、単位認定試験期間(7/27(金)～8/5(日))、及び8/12(日)～15(水)は除きます。また、庄原教室では実施していません。

広島学習センター

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
 TEL▶082-247-4030 FAX▶082-247-4461
 MAIL▶hiroshima-sc@ouj.ac.jp

福山サテライトスペース

〒720-0812 福山市霞町1-10-1(まなびの館ローズコム3階)
 TEL▶084-991-2011 FAX▶084-991-2012

卒業・修了おめでとうございます



広島学習センター

4月1日(日)に、
平成29年度第2学期
学位記授与式を行いました。

【平成29年度第2学期卒業生・修了生数】

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活と福祉専攻	1	0
人間の探究専攻	0	1
生活と福祉コース	14	4
心理と教育コース	16	2
社会と産業コース	11	0
人間と文化コース	8	2
自然と環境コース	1	2
情報コース	5	0
情報学プログラム	0	1
自然環境科学プログラム	2	0
合計	58	12



福山サテライトスペース

教職員一同、皆様のご健勝とご多幸、益々のご活躍を祈念しております。

目次

卒業・修了おめでとうございます	1	卒業生・修了生代表挨拶	3
学位記授与式客員教員祝辞	2	卒業生・修了生からのメッセージ	5

学位記授与式客員教員祝辞

広島学習センター客員教授 堀 貫治

ご卒業おめでとうございます。

皆さん、それぞれに目的をお持ちになってご入学され、その後、努力と研鑽を積まれて、今日のおめでたい日をお迎えになられましたこと、センター教員の一人としてたいへんうれしく思っております。心よりお祝い申しあげるしだいです。

だいぶ昔になりますが、情報関連の技術が躍進し始めた頃に、未来社会を予想した記事があったのを記憶しています。その中で、教育関係につきましては、将来は家に居ながら教育を受けられる、学校に行かずに自宅で学ぶことができる、夢のような未来型教育システムが可能になるとの予想がなされていました。放送大学はまさしくそれが具現化し、現実となったものであると思います。皆さんは、その最先端の教育・学習システムの中で、主体的に、そして自由に学ばれて学士の称号を得られたことに誇りをもっておられることと思います。「放送大学で学ぶ」という選択肢を自ら選ばれて、その目的を見事に達成されたことに、あらためて敬意を表するしだいです。

とは言いましても、一方では‘face to face’の授業形態も一部では必要であるとの考えから、放送大学では面接授業や公開講座なども実施されており、皆さんもそれに参加されて多くの仲間や教員との出会いがあったことと思います。私はよくよく出会いは人生の宝、人生は出会いによって形作られていくと思っております、いろいろな出会いに努めて参加するようにしています。出会いと言いましても様々で、喜怒哀楽に繋がるいろいろな出会いがありますが、その全てが人生に深みと豊かさを与えてくれているように思います。私自身、このセンターで皆さんにお会いすることができましたことは貴重な機会、体験になっております。年齢やバックグラウンドが異なる多様な学生さんを相手にして、授業の難しさをあらためて感じさせていただきましたし、皆さんの学ぶことへの真摯な姿に触れて感心させられ、私自身も勉強させていただきました。そう言う意味でも皆さんに心より感謝しているしだいです。皆さんもこのセンターでの出会いもそうですが、ご卒業後のいろいろな出会いも大切にしていっていただけたらと思います。

皆さんは「尾崎行雄」という政治家がいたことをご存じでしょうか。すでに故人ですが、明治、大正、昭和を生き抜いた方で、第1回衆議院選挙から25回選挙まで連続当選し、94歳まで現役政治家として活躍し、95歳で他界された、「憲政の父」と言われた方です。この尾崎行雄氏の訓話に「人生の本舞台は常に将来に有り」という言葉がありますが、これは彼が94歳の時に発した言葉だそうです。皆さんの本舞台はまさにこれからかと思えます。ご卒業後の皆さんのますますのご活躍を期待し、ご健康を祈念して、お祝いの言葉に代えさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。



卒業生・修了生代表挨拶

広島学習センター卒業生・修了生代表 津村 明甫(社会と産業コース)

本日は、私たち卒業生・修了生のために、このように厳粛、且、盛大な学位記授与式を行っていただき誠にありがとうございます。先ほどは、広島学習センター山田所長、ならびに客員教授堀先生から暖かいお言葉をいただき、私たち一同、感謝と喜びの気持ちもひとしおでございます。心からお礼申し上げます。

また、私たちが今日こうして卒業式・修了式を迎えることができたのも、山田先生はじめ、ご指導いただいた諸先生方、そして、陰から熱心にお世話をいただいた事務所の方々のおかげであると、心から感謝しております。

私たち一同は、キャリアアップを期して高みを目指す現役の若者から、すでに引退をしながら更なる向学心を動機として学ぶ者まで、様々ではありますが、いずれも、今日この日が人生にとって特別なマイルポストとなったことを自覚し、感慨を新たにしております。

私事になりますが、この度、77才にして、二度目の卒業式を、しかも、一度目と同様、妻と共に迎えることとなりました。メーカーの技術職として定年退職後も、経験を生かした仕事を続けましたが、働きながらも引退を間近に感じ、さてその先、何をしようかと暗中模索しておりました。

その頃、妻が放送大学の入学案内を見せてくれたのが放送大学との縁の始まりでした。

当時、長年、中・高生を対象に数学塾をやっていた妻も、同様に引退を考えており、同じような心境にあったのでしょうか、結局、夫婦で同時に放送大学に入学する事にいたしました。今から9年半前のことでした。

結果的に妻と同時に一度目の卒業を果たし、すぐに二人とも継続入学した結果、今回、又、図らずも同時卒業という次第になりました。受講したコースも、それぞれの関心も、また勉強の仕方も異なるのですが、結果的にはお互いに刺激し合い、高め合った部分もあるのだろうと思っています。

引退後の気ままな生活の中で、単位認定試験のための準備と緊張は、緩みがちな生活を引き締めてくれました。また、勉強すればするほど、自分が何も知らないことを自覚し、もっと、あれもこれも、広く深く知りたいという気持ちも強く、二人共また3度目の入学の手続きを済ませました。今後とも、放送大学の基調の理念のひとつである、「生涯教育の場」として活用させていただきます、今後とも所長はじめ先生方、事務所の方々のお世話になりますのでよろしくお願いいたします。

最後となりますが、センター長はじめ、諸先生方、並びに職員の皆様のご健勝と放送大学の益々の発展を祈念して、卒業生・修了生を代表してお礼の言葉とさせていただきます。

本日は、本当にありがとうございました。



卒業生・修了生代表挨拶

福山サテライトスペース卒業生・修了生代表 樋口 雪子(生活と福祉コース)

本日は、私たち卒業生・修了生のために学位記授与式を行っていただきましたこと、心より御礼申し上げます。私は放送大学に3年次へ編入学し2年6ヶ月で卒業となりました。卒業研究を行うために期間延長となりましたが自分での研究を本当に出来るのか疑問を抱きながらのスタートでした。パソコンの操作やメールによる先生とのやり取りそして何より文章を書けない日々との戦いでした。しかし先生の教授により方向性や文章の構成など学ぶことが出来ました。内容としましては乳幼児虐待についての研究でした。先行研究を調査し何が出来るのか模索し検討を重ねました。また事前調査をして1年間分の朝日新聞の日めくりと事例に関する考察を行いました。何日も図書館へ通い、自分が何について情報を得たいのか問題となっているのは何なのかなど焦点を絞り研究を行っていきました。十分な研究ではなかったと思いますが一つのことについて発表までこぎつけることが出来ました。そして放送大学本校での発表や広島学習センターでの成果発表と終わることが出来ました。これも広島大学教育学部の三時眞貴子先生のご指導のおかげであります。何の教養もない私でしたが優しく接してくださいました。先生には感謝の言葉しか思いつきません。本当に有難う御座いました。

これからはさらにこの研究を深めると共に放送大学大学院での学びを行っていきます。今までの知識と職業の経験から年齢には関係がなく学ぶことが出来るこの機械を全うしていきたいと考えています。今まで御指導、御相談に親身になっていただきました教職員の皆様方に感謝を申し上げます。本日は有難う御座いました。



広島学習センター所長表彰

広島学習センター所属の平山英子さんが、教養学部全6コースの学位を取得され、広島学習センター所長表彰が授与されました。

平山さんは、平成24年までに20年かけて当時の全てである5コースで学位を取得されました。

その後は選科履修生として学習を続けてこられました。新たに設立された「情報コース」(平成25年新設)へ平成28年に入学。今年(平成30年)その「情報コース」も卒業され、見事に6コース全ての学位を取得されました。



卒業生・修了生からのメッセージ

平成 29 年度第 2 学期卒業生・修了生の皆様より、卒業・修了にあたっての思いや、これから学ぼうとする学生の皆さまへ向けてのメッセージをいただきました。

●生活と福祉コース卒業 青井 悦子

放送大学卒業は二回目だ。最初は前世紀末、老眼鏡はまだ不要だった。千葉幕張での卒業式、学位記受領代表で緊張した。

その後子供へ学費を送る身になり、自分の愚かさを感じ始めた。私の入学のきっかけはこんなものだった。放送大学在学中に老人介護に関わり、先達より多く学んだ。一方、医療・介護に係る仕事なので放送大学授業を懸命に活用した。郷里で継続入学、眼鏡をかければまだ余力がある。継続は力だと思う。

●生活と福祉コース卒業 市川 莞爾

最初の入学時は「人間と文化」を選択し、哲学・宗教・歴史・外国語等を学んだ。これらは日常生活では直接には役に立たないと思われるが、人生経験豊かな仲間と共に楽しく学習することができた。6年前の再入学では、実生活を重視し「生活と福祉」を選んだ。認知症など加齢とともに忍びよる疾病について、国内の厳しい現状を学ぶことができ大変有意義であった。職員の皆様には 12 年間ご支援頂き本当に有難うございました。

●生活と福祉コース卒業 森下 町子

平成 20 年から丁度 10 年掛かりでの卒業。時には“自分には無理では”と中途退学も頭に浮かびました。

でも放送大学のカリキュラムは自宅での学習が主で少しずつ単位を修得することで、今日に至りました。

勉強不足で追試を受ける事も多々ありました。けっして優等生ではなかった自分に卒業証書を頂けるなんて夢の様です。先生方に感謝いたします。いつも親切に窓口対応して頂きました大学職員の皆様方にも感謝いたします。

●生活と福祉コース卒業 森本 さゆり

夜中にテレビをつけると韓国語の講座をしていて、とてもわかりやすかったので、毎週見ることにしました。後でこれは放送大学だとわかり早速選科履修生になり、1 年間韓国語 I と II を受講しました。

おかげで何度受けてもだめだったハングル検定に合格することができました。一年間楽しかったので、全科履修生になり、資格をとるのに役立つ科目を選んで勉強してきました。おかげ様で保育士・製菓衛生師・特別支援学校教諭の資格が取れました。保育士として就職することもできました。

●心理と教育コース卒業 高田 知里

仕事に関する知識を得、資格取得を目指し放送大学へ入学しました。入学当初、放送授業ならではの学習スタイルに戸惑い、職員の方に相談させていただいたり、面接授業でお会いした諸先輩方に学習方法や試験対策を教わったりしました。そして徐々に自分のペースを掴み、7 年間意欲的に学ぶことが出来ました。仕事と家庭と学習のバランスをとる為に私が活用したのは車です。息子たちが通う塾や習い事、部活動への送迎の合間に駐車場で印刷教材を開いたり、サテライトスペースへ CD 教材を借りに行ったりしました。CD 教材は、通勤時に車で繰り返し聞き、学習時間を確保しました。貸出に通えない時、学習センターへ郵送の申請をしたことも思い出の一つです。面接授業でお世話になった先生方、学生の方々、いつも温かく支えてくださった職員の皆様に心よりお礼申し上げます。家族の応援にも感謝です。「知る喜び」と「学ぶ楽しさ」を再確認した学生生活でした。

●社会と産業コース卒業 長重 忠昭

私が初めて放送大学で学習したのが 1995 年。しばらく遠ざかっておりましたが、家族の理解もあり、学習を再開いたしました。気づけば卒業までに 23 年の月日が流れていました。放送大学は自分のペースで学習したい方にとって、あまり負担を感じる事なく、学習を進められる大学であると感じております。放送大学では学ぶことの大切さを学んだ様な気がします。

引き続きよろしく願いいたします。

●人間と文化コース卒業 帖地 健次

市主催の文化祭会場で、小学生が夏休みに取り組んだ自由研究のノートを見る機会があり、その内容の高さに、私の時代とのレベルの差に衝撃を受け、放送大学での学び直しを決め、区切りの六十歳で早期退職しました。放送大学で学び始め五年間で卒業となりましたが、振り返ると、試験に追われ、卒業研究も提出できなく卒業となり、再び「社会と産業コース」での学び直しを決めました。今度こそ卒業研究論文の提出を目指します。

●人間と文化コース卒業 森 龍治

今回私はお陰様で4コースを無事に終了することができました。

64歳の時に入学した時には試験というものから遠ざかっていたものですから果たして合格点が取れるか不安がいっぱいでした。でも自分の興味のあるコースから始めたものですから、無事に卒業も出来ました。次コースに進んだ時には、未知の世界に入り、ここで卒論に挑戦し先生に直接指導を受けたことも良い経験に成りました。残り2コース有りますが将来に向かって目標を持ち、楽しみながら挑戦して行く予定です。

●情報コース卒業 平山 英子

大学院を含め学部5コースのグランドスラムを達成したのは、2012年のことであった。その喜びはNHKホールの卒業式で紹介された。居間には学長から頂いた表彰状を掛けており「……よってその努力を称え表彰します」と結んである。本当に嬉しい限りであった。

しかし、その後情報コースが設立され、今回はその情報を卒業することができた。本年度からは全科履修生に入れず、選科履修生として27年目の生涯学習がスタートするのである。

●自然と環境コース卒業 小島 健一

私は、平成19年定年退職と同時に入校し、6年かけて産業と技術専攻を卒業した後、自然と環境コースで学びました。

新しい知識を得ることは、私にとって新鮮で、充実感をもたらしてくれます。

全コースを卒業された先輩方に少しでも近づけるよう、いくつになっても挑戦し続けることをモットーに勉学に励むと共に、これからも多くの方々とはふれ合っていきたいと思えます。

●自然環境科学プログラム修了 熊野 花子

私は、上記に記載の自然環境科学プログラム修士課程へ2016年4月に入学し、2018年3月を以て修了を迎えた。

自身、闘病生活と共に人生を歩む中、2年間の研究活動では幾度も危機状況へ遭遇した。しかし、周囲の多大なご支援の元、それらの状況を解決する方法を考え抜き、根気強く継続することにより、人生で貴重な成果を得ることとなった。

今後も、教養学部の学生として属し、皆様と一緒に「学び」をより深めていきたいと思う所存である。